

名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	免疫抑制剤の生体腎移植レシピエントへの影響に関する観察研究		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～（西暦）2024年 12月		
研究実施診療科	移植・内分泌外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2019年 6月 10日	
	院長が研究実施を許可した日	2019年 6月 11日	
対象となる方	対象期間内に、名古屋第二赤十字病院移植・内分泌外科において、生体腎移植ドナーとして手術を受けられた方		
対象期間	（西暦）2008年 1月 ～（西暦）2024年 12月		
研究責任者	所属	移植・内分泌外科	氏名 平光 高久
研究の意義	当院では、生体腎移植を行うに当たって、免疫抑制剤の過少投与による拒絶予防、抗ドナー抗体産生予防のため、逆に免疫抑制剤による感染症、癌発生などの合併症を減らすために、免疫抑制剤の血中濃度を測定する事により投与量を調節しています。これまでの免疫抑制剤の血中濃度を測定に基づく治療が移植腎機能、レシピエントに与える影響を検討します。		
研究の目的	免疫抑制剤が、生体腎移植レシピエントに与える影響を検討します。		
研究の方法	対象となる患者様において、血液検査結果と臨床情報を診療録を振り返って収集し、それらの関連性を統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	診療録から、年齢、性別、術前の経過、治療中の経過、全身検査所見（血液検査、画像検査等の結果）などの情報を収集し、匿名化した上で使用します。		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。		
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。		
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。		
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために		

	利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	名古屋第二赤十字病院 移植・内分泌外科 平光 高久 電話 052-832-1121 (代表)